（２）　研究構想図

学校教育目標

～チャレンジ☆　やればできる～

目標をめざし　仲間と協力し　努力を楽しむ子の育成

めざす子ども像

心身ともに健康な子
「おはよう」から「さよなら」まで生き生きと活動する子

自他を大切にする子
メタ認知できる子

進んで学ぶ子
楽しく、分かるまで、粘り強く学ぶ子

研究主題

自分の考えをもち、ともに学びあう子の育成

～互いの考えを理解し、話し合いが深まる算数科の授業づくりを通して～

研究仮設

算数科の授業において、互いの考えを理解し、話し合いが深まる授業づくりに取り組むことで、思考を深め自分の考えを広げ、ともに学び合う子を育成することができるであろう。

学力の向上

基礎基本の定着、思考力・判断力・表現力の向上

考えを伝え合う中で「なぜ？」「どうしてそうなるの？」という問いをもち、問い返すことで互いの考えを理解し、思考の広がりを生み出す算数科の授業づくり

学習意欲の向上

「壬生小 UD 化授業モデル」に基づく指導・支援の工夫

資質・能力の向上

意志力、自己回復力、協働する力
課題解決力、多面・多角的な見方・考え方

児童の実態把握

検証の方法

・単元末・学期末テスト、教研式標準学力検査の解答結果の分析

・児童のノートやワークシート、振り返りの記述分析

検証の指標

・単元末・学期末テスト、教研式標準学力検査における「思考・判断・表現」の正答率の全国比１００以上
・ノートに話し合い活動により思考が深まったことを記述している児童数増